

スケートインターハイ あす開幕

橋本（八戸）2種目で表彰台狙う スピード

「銀嶺の信濃に舞ける風となれ」を大会スローガンに、第70回全国高校スケート競技・アイスホッケー競技選手権が21～25日、長野県内で開かれる。スピードスケート、フィギュア、アイスホッケーの3競技に全国から444人が出場。青森県勢は選手、監督ら76人が全国の精鋭に挑む。県勢を中心に各競技の行方を展望する。（取材班）

◇スピードスケート（21～24日・長野市エムエーブ）男子長距離の橋本芳彦（八戸西）が上位入賞を狙う。高校生のタイムランキングは5

工大一 2回戦がヤマ アイスホッケー

男子1000級では石岡 敷みなも（八戸）は上位24人に入賞圏内。男子は木村哲太（八学光星）が初のインターハイで健闘を誓う。

◇アイスホッケー（21～25日・軽井沢町風越公園アイスアリーナほか）青森県王者の工大一は1回戦で東北（宮城）と対戦。総合力の差で初戦突破は堅いとみられるが、2回戦では前年優勝の駒大苫小牧（北海道）が待ち構えており、苦戦は免れない。青森県大会準優勝の八戸工は2回戦で「光泉（滋賀）」・龍谷富山の勝者と対戦し、勝つて8強入りを目指す。八戸は初戦で釧路工（北海道）とぶつかる。

◇フィギュア（21～24日・長野市ビッグハット）女子は昨年フリーに進んだ渡辺倫日（青森山田）に入賞の期待。日・軽井沢町風越公園アイスアリーナほか、高屋 青森県王者

渡辺（山田）入賞に期待 フィギュア